

次なる革新を
ここから。



国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構
FFGアントレプレナーシップセンター

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14
長崎大学文教キャンパス工学部2号館2F
オープンラボ3(研究室)・1F オープンラボ1
(ラウンジNOVE)



TEL **095-800-4121** (内線4121)

| お問い合わせ先 |

ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp

お問い合わせ・ご相談につきましては、上記のQRコードからメールにてご連絡ください。



国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構
FFGアントレプレナーシップセンター

活動報告書

Activity Report 2022



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY



ふくおかフィナンシャルグループ

株式会社
ふくおかフィナンシャルグループ
寄附講座



時代のうねりから 次代の創造へ。

From the Social Upheaval of the Times,
To the Creation of the Next Generation

Activity Report 2022

To the Creation of the Next Generation

長崎大学研究開発機構FFGアントレプレナーシップセンター(以下、NFEC)は2019年10月、長崎大学とふくおかフィナンシャルグループとの連携協定に基づき、アントレプレナーシップ教育の実施と大学発ベンチャー創出支援を目的とする寄附講座として、開設されたセンターです。

NFECのミッションは、第一に、長崎大学の全学部生、全大学院生及び社会人履修生を対象として、体系的なアントレプレナーシップ教育・人材育成プログラムを実施することにより、先進的なイノベーション教育・研究の機会を提供し、自立心・向上心に溢れ、課題解決による新しい価値創造への意欲を持ったアントレプレナーを育成することです。第二に、大学における研究開発成果である技術や知的財産を事業化・実用化するため、大学発ベンチャーの創出を支援し、新産業創造及び地域経済の発展に貢献することです。第三に、アントレプレナーシップ教育やベンチャー創出に関心持つ地域企業、地方公共団体、他大学・高専・高校等との交流・連携を通じて、地域全体のスタートアップエコシステム、イノベーションエコシステムを構築することです。

今般、NFECのミッションを達成すべく、これまで取り組んできたNFECの活動を振り返り、今後目指すビジョンを展望するために、「活動報告書2022」を作成いたしました。

国立大学法人長崎大学
研究開発推進機構
FFGアントレプレナーシップセンター

Contents

1 メッセージ

- | 1 | 国立大学法人長崎大学/河野 茂 学長 02
- | 2 | 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ/五島 久 社長 03

2 NFECの活動内容

- | 1 | 組織体制及び活動内容 04
- | 2 | 活動体制 05
- | 3 | ビジョン~「起業活動支援」と「意識醸成」の2つのスコープ~ 06

3 NFECの活動成果

- | 1 | データで見るNFEC 08
- | 2 | インキュベーション事例 12
- | 3 | アントレプレナーシップ教育・人材育成プログラム 16

4 NFECの歩み

- | 1 | ヒストリー 18
- | 2 | メディア掲載実績 19

5 NFECメンバー紹介

- | 1 | 教職員・アドバイザーボード 20
- | 2 | ゲスト講師 21

6 NFECの概要

- | 1 | 概要・ラウンジNOVE 24
- | 2 | NFEC及びラウンジNOVEへのアクセス 25



【1】 国立大学法人長崎大学／河野 茂 学長

アントレプレナーシップ教育と
大学発ベンチャー創出支援により、
長崎から日本・世界へはばたく人材を
輩出し、新産業創出に貢献を!

国立大学法人長崎大学 学長

河野 茂 Shigeru Kohno



長崎大学は、将来ビジョンとして「プラネタリーヘルスへの貢献」を2020年に宣言しました。本学は「プラネタリーヘルス」を合言葉に、産学官が連携し地域社会に貢献することを目指しています。これまでも社会人向け履修証明プログラム、研究者向けインキュベーションプログラム、学部生・院生向け教育プログラムを通して、地域の課題解決や新規事業の創出、大学発ベンチャーの支援に取り組んでまいりました。私たちは、幅広い企業や社会人の皆様方との共創を強化し、地域産業や経済の発展、人材の育成を目指しています。

そのような中、2019年10月にふくおかフィナンシャルグループの寄付講座として、本学研究開発推進機構内に「FFGアントレプレナーシップセンター(NFEC)」が開設されました。さらに、株式会社十八親和銀行様の寄付を頂き2023年4月に新たなスタートを切りました。昨年度には「長崎大学発ベンチャー称号授与規定」を制定し、本学の教職員や卒業生がこれまでに設立した6社の企業を「長崎大学発ベンチャー」として認定しました。

全教員一丸となり、「アントレプレナーシップ教育」と「大学発ベンチャー創出の支援」に懸命に取り組みを推進しています。

長崎大学において、多くの皆様が社会人向け履修証明プログラムや研究者向けインキュベーションプログラム、学部生・院生向け教育プログラムを通して、課題解決に取り組む中で、起業家精神を培い、長崎を支え、日本、世界で活躍する次世代のアントレプレナー人材になることを期待しています。また、企業の皆様の連携や大学の技術シーズ(知的財産)の活用を推進し、新規事業の創出と、地域経済の発展に長崎大学が大きく貢献していくことを目指していきます。

【2】 株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ／五島 久 社長

FFGアントレプレナーシップ
センターから
「長崎の地域エコシステム」を実現

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ 代表取締役社長

五島 久 Hisashi Gotou



長崎では、長崎市を中心に新幹線開通をきっかけとした大型開発が進められ、「100年に1度のまちづくり」の経済効果が期待されています。その一方で、少子高齢化の進展から地域活力の低下などの構造的な問題を抱えており、喫緊の課題として地域産業強化による経済の活性化と持続的な発展が求められています。

そのような地域社会の課題と向き合うべく、ふくおかフィナンシャルグループでは、2019年にアントレプレナー人材の育成と大学発ベンチャーの創出支援を目的とした「FFGアントレプレナーシップセンター」を長崎大学の寄付講座として設立しました。2022年度における教育・人材育成プログラムの受講者は1,000名を超え、技術シーズの事業化に向けた支援も積極的に行っています。また、長崎の自治体と連携したスタートアップ支援事業を通じた長崎県の新産業・ベンチャー創出に向けた様々な取り組みも行っており、長崎でのスタートアップ・エコシステム構築に向けた機運醸成に手ごたえを感じています。

今後もふくおかフィナンシャルグループでは、十八親和銀行ならびにFFGベンチャービジネスパートナーズを通じて、次世代起業家の育成、大学発ベンチャーの創出、スタートアップ・新産業の創出、地域経済の活性化に資する地域エコシステムへ積極的に参画し、長崎経済の発展に貢献するという地域金融機関本来の役割を果たしてまいります。

2 NFECの活動内容

【3】 ビジョン～「起業活動支援」と「意識醸成」の2つのスコープ～

ベンチャー企業創出

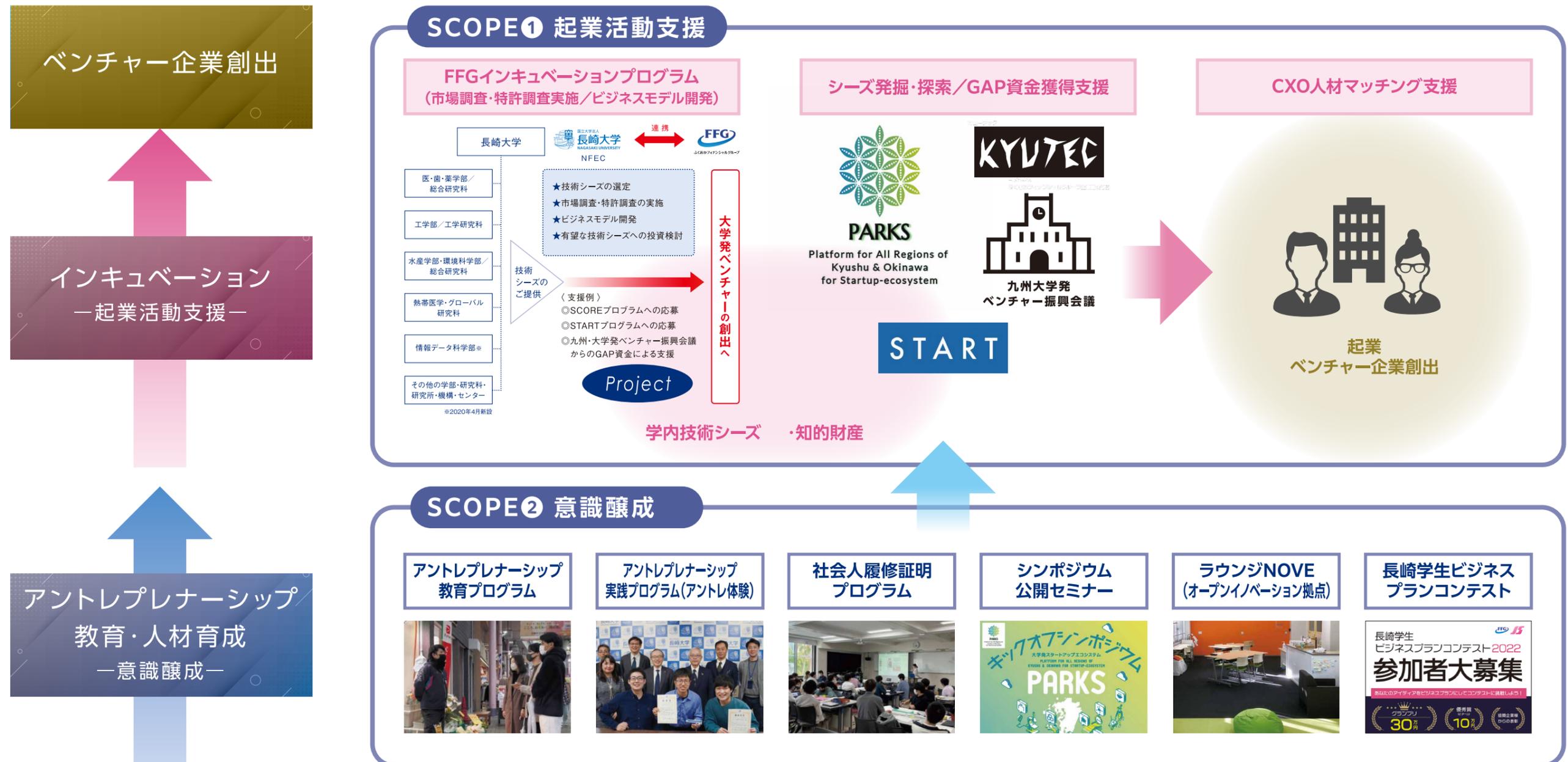
大学発ベンチャーを創出するためには、インキュベーションから起業に至るまでのプロセスで必要となる「ギャップ資金の獲得」、「CXO人材（経営、財務、市場等の各分野の専門人材）の獲得」、「ビジネス機会の創出」に向けた様々なサポートが求められます。そのためには、①研究者への粘り強い継続的な支援、②学内研究室／教職員との日常的なコミュニケーションの強化、③研究開発推進機構他部門との連携、④大学発ベンチャー創出を成し遂げることにコミットメントや熱意が不可欠となります。また、長崎経済を支える地域企業や地域自治体との連携も欠かせません。NFECが目指す将来ビジョンの実現は道半ばであり、今後もさらなる積極的な活動を進めてまいります。

インキュベーション

大学における研究開発成果である技術シーズや知的財産のインキュベーション支援は、市場調査・特許調査、ビジネスモデル開発を行い、事業化可能性を高めるなど、大学発ベンチャーを創出するために重要なプロセスとなります。学内の技術シーズの発掘・探索を進め、大学発ベンチャー創出のポテンシャルを最大化するべく、さらなる継続的な取り組みが必要です。

アントレプレナーシップ教育・人材育成

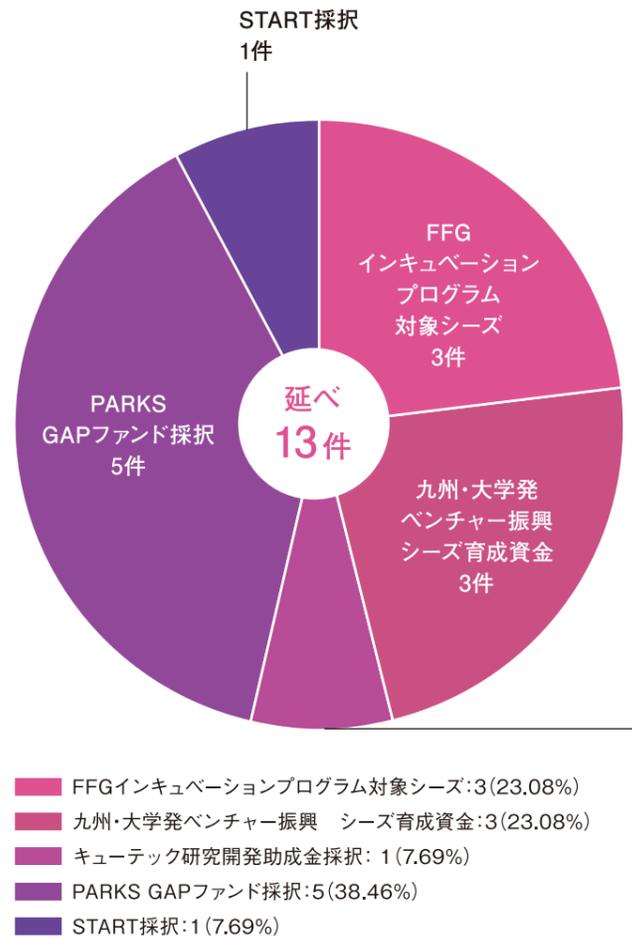
学生や社会人に対するアントレプレナーシップ教育・人材育成は、自立心、向上心を持って、多面的な視野・視座・視点により社会課題の解決に取り組む人材、地域に根差した新しい価値創造を行って、地域経済の発展に貢献する人材を輩出し、ひいてはベンチャー創出に向けた機運の醸成やボトムアップに繋がるものと考えています。大学教育の中にアントレプレナーシップ教育を体系的に位置づけて、意識を醸成し、コンピテンシー形成の機会を提供していくことが求められます。



3 NFECの活動成果

【1】データで見るNFEC①

インキュベーション



学内技術シーズを対象としたFFGインキュベーションプログラムを実施するとともに、各種助成金やGAPファンド採択により延べ13件の学内研究者の起業活動を支援した。

キューテック
研究開発助成金採択
1件

九州・大学発ベンチャー振興シーズ育成資金採択 ~3件

- ◆九州・大学発ベンチャー振興会議は、九州域内大学の技術シーズの事業化を目指し実践的支援を産学連携により行うプラットフォーム(会議体)である。
- ◆主に①産業界からの寄付によるGAP資金の提供と、②大学の技術シーズと企業とのマッチングを実施している。
- ◆長崎大学として2022年度3件の技術シーズが本育成資金に採択された。



PARKS GAP ファンド採択 ~5件

- ◆Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem(PARKS_パークス)は、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)による「大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」の採択を受け、オール九州・沖縄圏一体でアジアとつながるスタートアップ・エコシステムを創出することを目指し、九州・沖縄の18大学と株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ(FVP)により運営されているプラットフォームである。
- ◆長崎大学においては下記技術シーズ5件がGAPファンドに採択され、起業活動支援が実施された。



PARKS
Platform for All Regions of
Kyushu & Okinawa
for Startup-ecosystem

研究テーマ	研究者
高活性型ヒトインターロイキン18変異体を用いた免疫エフェクター細胞培養技術の事業化	長崎大学 先端創業イノベーションセンター 田中 義正 教授
皮膚病変を伴う成人T細胞白血病に対する免疫エフェクター細胞療法の実用化	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学 室田 浩之 教授
クロマチン再構築BAF/TBAF複合体を標的としたエピゲノム創薬	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 伊藤 敬 教授
データセンタ用100GHzポリマ・ガラス光変調件実用化開発	長崎大学 工学研究科電気電子工学コース 榎波 康文 教授
パターン投影による非接触機上計測装置およびその開発システム	長崎大学 大学院工学研究科機械工学コース 矢澤 孝哲 教授

キューテック研究開発助成金採択 ~1件

- ◆一般社団法人ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団(通称:キューテック)は、技術志向型ベンチャー・中小企業の技術及び経営基盤強化や育成を目的に、九州・山口地域におけるベンチャー企業及び大学・高専に対し助成金を交付するFFGグループの一般社団法人である。
- ◆長崎大学としては、2022年度は1件の技術シーズが、本助成金に採択された。



研究テーマ	研究者
100GHz超高速ポリマ・ガラス光変調期の実用化	長崎大学 工学研究科電気工学コース 榎波 康文 教授

START採択 ~1件

- ◆科学技術振興機構(JST)のSTARTプロジェクト推進型ビジネスモデル検証支援では、研究者と事業化プロデューサー等が、事業化支援ノウハウを持つアクセラレーターによる研修やメンタリングで起業に有益な知識を実践的に学習します。



FFGインキュベーションプログラム 対象技術シーズ ~3件

インキュベーションプログラムは、FFGアントレプレナーシップセンター、関係組織や履修証明プログラム「イノベーション論」参加者等で形成されたプロジェクトチームが学内シーズの市場調査、特許調査を行うことで技術の事業化検証と支援人材の育成を行うものである。

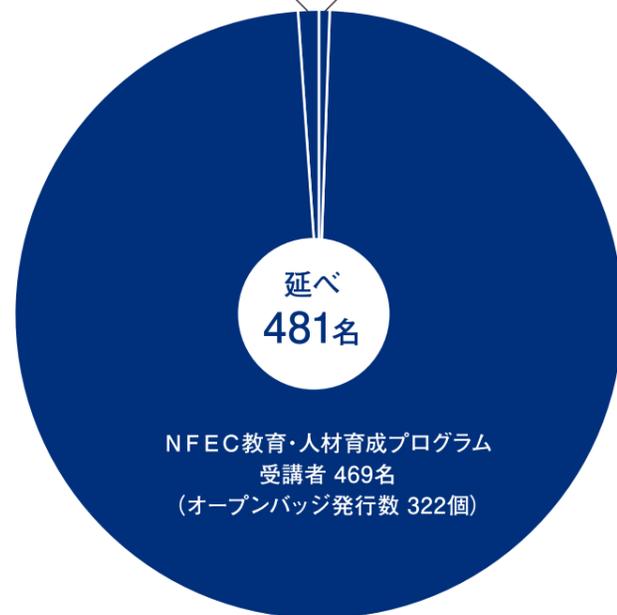
年	シーズ	技術シーズ提供者
2022年度	植物鮮度測定技術	長崎大学 大学院工学研究科 情報データ科学部 全 炳徳 教授
	固定砥粒ワイヤソー切断技術	長崎大学 大学院工学研究科 機械工学コース 矢澤 孝哲 教授
	工具摩耗推測測定方法技術	長崎大学 大学院工学研究科 機械工学コース 矢澤 孝哲 教授

3 NFECの活動成果

【1】データで見るNFEC②

アントレプレナーシップ教育・人材育成

アントレプレナーシップ
実践プログラム参加者 7名
長崎学生ビジネスプラン
コンテスト受賞者 5名



NFECは2019年10月開設以来、学部生・大学院生を対象とした「NFECアントレプレナーシップ教育プログラム」、社会人を対象とした「NFECアントレプレナーシップ人材育成プログラム(社会人履修証明プログラム)」、起業家支援人材・指導人材を対象とした「KIEPS-FDプログラム」等、様々なアントレプレナーシップ教育・人材育成を実施してきました。そして、述べ1000名以上の学生・社会人履修生が授業を受講し、延べ200名の起業家支援人材・指導人材がセミナーを受講しました。

ビジネスプランコンテスト受賞者数

- ◆FFG主催「長崎学生ビジネスプランコンテスト」において受賞者16名を輩出(2020-2022年度合計)。
- ◆長崎大学の学部生が、2020年度から3年連続グランプリを受賞。



長崎学生ビジネスプランコンテスト2022
グランプリ・協賛企業賞の経済学部2年
菊池将成さん

長崎学生ビジネスプランコンテスト(敬称略)

	受賞	テーマ	メンバー
2022年度	グランプリ・協賛企業賞 (Kabuk Style賞・杉永蒲鉾賞・長崎自動車賞・メモリード賞)	[ガチャばす]	菊池将成
	優秀賞(十八親和銀行賞)	[歯科医師版 UberEats]	松崎 雄也・濃野 光・松島 良典
	協賛企業賞(GEUDA賞)	[ロスフラワー活用事業]	徳永恒大ほか

アントレプレナーシップ実践プログラム参加者数

- ◆2021年度より、長崎大学が標榜する実践力の涵養を目指して、「アントレプレナーシップ」をプロジェクト実践による様々な体験を通じて学ぶことにより、「困難に対峙する力」や「新価値創造に必要な能力」を養うことを目的として、キャリアセンターとNFECが本実践プログラムを実施。
- ◆2022年度は、本実践プログラムに4チームが採択された。

【2022年度表彰チーム】(敬称略)

- ◆最優秀賞/学長賞
[MDM Clouds]松崎雄也(医学部5年)・濃野光(医学部5年)・松島 良典(歯学部5年)
- ◆優秀賞
[たびぶたい] 菊池将成(経済学部2年)



最優秀賞/学長賞の濃野 光さんと
河野 茂学長(右)

NFEC教育・人材育成プログラム受講者数

「NFEC教育・人材育成プログラム」は2022年度延べ469名の学部生・大学院生および社会人履修生が受講

年度	学部生・大学院生(名)	社会人履修生(名)	合計(名)
2022年度	351	118	469

オープンバッジ発行数

2020年度より「NFEC教育・人材育成プログラム」の受講修了者に対して、国立大学初のオープンバッジをNFECより発行。

※「オープンバッジ」とは、資格・スキル・能力等を示すデジタル証明/認証であり、世界的な技術標準規格に準拠した、偽造・改ざんが困難な信頼性のある学習証明書。



年度	学部生・大学院生対象(個)	社会人履修生対象(個)	合計(個)
2022年度	203	119	322

【2】 インキュベーション事例

PARKS起業活動支援プログラム GAPファンド

JST事業「大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」に採択

研究開発課題 高活性型ヒトインターロイキン18変異体を用いた免疫エフェクター細胞培養技術の事業化

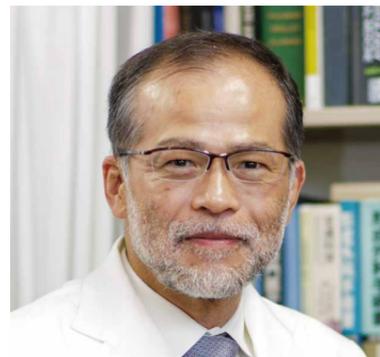
医薬品開発のメインストリームは、1990年代後半に低分子医薬品から抗体医薬品へ移行したが、今後、さらに細胞医薬品開発の局面に転換すると考えられている。特にがん免疫療法として、免疫エフェクター細胞を中心とする細胞輸注療法が大きな注目を受けている。免疫エフェクター細胞は、インターロイキン-18受容体を高発現しているため、インターロイキン-18で刺激すると、効率的に培養することができる。本事業では、現在、細胞輸注療法を開発している製薬企業や大学病院、さらには、創業ベンチャーに対して、高活性型ヒトインターロイキン-18を供給することを目的とした事業を展開するための基盤を整備することを目的とする。



国立大学法人 長崎大学
先端創業イノベーションセンター
センター長・教授 田中 義正 先生

研究開発課題 皮膚病変を伴う成人T細胞白血病に対する免疫エフェクター細胞療法の事業化

アンメットメディカルニーズである成人T細胞白血病に対する細胞輸注療法を臨床展開し、医療事業化する。がん細胞を傷害する効果の高い $\gamma\delta$ T細胞を、比較的少量の患者血液から、特許技術を用いて迅速に増幅し、患者へ経静脈的に投与(輸注)する。長崎大学病院細胞療法室をセンターキッチンとするサプライチェーンを展開し、がん診療医療施設は治療を希望する患者の血液を長崎大学病院へ送付、後日、増幅した患者 $\gamma\delta$ T細胞を患者に輸注する。このように長崎大学の特許技術で増幅した細胞をがん診療医療施設へ提供するサービスを事業化するものである。



国立大学法人 長崎大学
大学院医歯薬学総合研究科
皮膚病態学
教授 室田 浩之 先生

研究開発課題 クロマチン再構築BAF/TBAF複合体を標的としたエピゲノム創薬

発癌は放射線、紫外線、化学物質による癌遺伝子の活性化により引き起こされる。癌はその旺盛な細胞増殖、浸潤、転移により人を死に至らしめる。抗癌剤は大きく分けて①細胞障害性の抗癌剤と②分子標的抗癌剤に分けられる。①細胞障害性の抗癌剤は旺盛な細胞増殖能を障害するもので、正常の細胞も攻撃するため脱毛を起こしたり白血球が減少したりする。②分子標的抗癌剤は活性化された癌遺伝子のみを標的とするもので副作用が少ない。1981年(昭和56年)以降、がんは死因の第一位となり、現在3人に1人が、がんで亡くなっている。これらの癌に対する分子標的抗癌剤のニーズは高く、そのアッセイの方法、開発品の販売は、製薬会社を顧客ターゲットとして想定している。



国立大学法人 長崎大学
大学院医歯薬学総合研究科
教授 伊藤 敬 先生

研究開発課題 データセンタ用100GHzポリマ・ガラス光変調器の実用化開発

世界IT企業GAFAM(アマゾン等)が有する米国における巨大なデータセンタ光通信のイーサネット速度の高速化、低消費電力化、低コスト化のために超高速、低消費電力、低コストの光変調器が必要とされている。光変調器はデータセンタ電気信号を光信号に変換する最も重要な光デバイスであり、その高速性能は特に重要である。代表者はハイブリッド型ポリマ・ガラス光変調器を26年間米国大学、国内大学及び米国企業で研究開発し、世界最低駆動電圧0.65Vを実証後(既存の1/10)、近年世界最速光変調速度(光変調帯域幅130GHz)を実証した。本光変調器をデータセンタ用光変調器として開発、販売、ライセンス契約等を行う。



国立大学法人 長崎大学
工学研究科電気電子工学コース
教授 榎波 康文 先生

研究開発課題 パターン投影による非接触機上計測装置およびその開発システム

金型など一品一葉な製品・部品の加工において、非生産時間である計測検査・段取り・搬送作業を大幅に圧縮し、工作機械上ですべての作業を完結するための非接触測定装置について、要求仕様と制約のなかでその装置を短いリードタイムで開発するシステムを構築する。特に本研究開発期間では、対象物の3次元形状と工作機械の制限に応じて、適切な投影パターンを用いて非接触機上計測する装置の設計・開発フローを構築し、それを用いた装置の試作を行う。



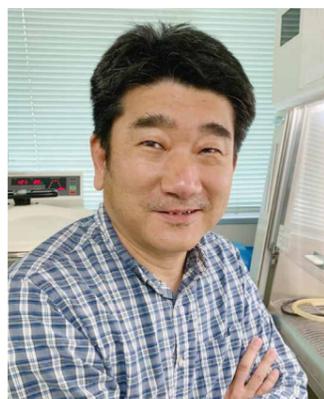
国立大学法人 長崎大学
大学院工学研究科
教授 矢澤 孝哲 先生

【2】 インキュベーション事例

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム(プロジェクト推進型 ビジネスモデル検証支援)に採択

プロジェクト推進型 ビジネスモデル検証支援とは、大学等の優れた技術シーズを基にした成長ポテンシャルの高い大学等発ベンチャーの創出を促進するためのプログラムです。アクセラレーターによる研修やメンタリングで起業に有益な知識を実践的に学習し、自らの技術シーズを基に試作品やデータ等を準備して、想定顧客等の評価を受けます。その結果や社会ニーズを研究開発にフィードバックさせることを繰り返して、想定ビジネスモデル仮説を現実化、高度化させることにより、実践的能力の向上やネットワーク形成を進め、次の事業化ステージにつなげていきます。

研究開発課題 クルマエビ抗体を用いた研究用検査試薬の開発



国立大学法人 長崎大学
熱帯医学研究所
准教授 久保 嘉直 先生

⑤クルマエビ抗体を用いた研究用検査試薬の開発
～診断薬・治療薬の開発を目指して～ 長崎大学 久保 嘉直

顧客とその課題

顧客: マウス抗体を用いて実験を行っている
医学生物学研究者

課題: **マウス抗体の単離は高額で
時間がかかる。
改良することが出来ない。**

技術シーズの強みと実現性

強み

1. マウス抗体と異なり、クルマエビ抗体は簡単な手法で単離、改良が可能(下左図)。
2. 大腸菌における大量生産が可能で、研究、医療分野だけでなくヘルスケアの分野にも応用できる。
3. 他の機能的蛋白質との融合蛋白質を作成することが出来、高感度診断、治療、ドラッグデリバリー等に応用することが容易。
4. 哺乳類に毒性のある蛋白質や哺乳類で配列が同じ蛋白質に対しても結合する抗体を単離することが出来る。
5. 研究用抗体の世界的市場規模、約1000億円

実現例
ラッサウイルスとHIVに結合するクルマエビ抗体の単離に成功(右図)。

商品紹介

Ebibody

Ebibodyによって、研究費と時間を節約することが出来、研究の進歩が加速する。

PCR → プラスミド DNA → 簡便なスクリーニングと高感度な検出 (特許申請予定)

マウス抗体 vs エビ抗体

検出対象	発光強度
正常クルマエビ	約50,000
HIV抗体検出	約150,000

長崎大学発ベンチャー称号授与規定の制定

長崎大学発ベンチャー称号授与の概要

国立大学法人長崎大学では、「長崎大学における長崎大学発ベンチャーの称号授与に関する規程(令和4年3月28日 規程第34号)」(以下、「本規程」という)を制定し、2022年度より本学における研究成果、人的資源等を活用して起業したベンチャー企業に対して、「長崎大学発ベンチャー」の称号を授与する制度の運用を開始しました。「長崎大学発ベンチャー」称号授与のための申請資格を満たし、かつ称号の使用を希望する企業は、所定の手続を経ることにより、「長崎大学発ベンチャー」の称号が授与されます。

称号授与申請資格

「長崎大学発ベンチャー」の称号授与のためには、下記のうちいずれかの申請資格を満たし、かつ、所定の申請書を提出して、面談及び長崎大学研究開発推進機構運営委員会の議を経て、決定を受けることが必要となります。

<申請資格>

- 1.長崎大学(以下、「本学」)又は本学の教職員若しくは学生が所有する知的財産権を活用して設立した企業
- 2.本学で達成された研究成果を活用して設立した企業
- 3.本学の教職員、学生等(在職又は在学していたものを含む。)が、本学において習得した技術、知識等を活用して設立した企業
- 4.その他学長が特に必要と認めた企業

称号授与申請資格

会社名	代表者名	概要
株式会社 N-サンガク	数 喬城	大学などの研究成果や知的財産権を活用して産業化し、地域産業の活性化と大学及び研究者への支援を目的に地元企業の経営者が発起人となり、2014年に設立された長崎大学発バイオベンチャーです。
株式会社 レポーソ	松岡 広明	嗅覚技術(Scent Technology)のインフラを構築し、人々の生活を豊かにする新たな文化の基盤を創造するための各種事業を展開。
株式会社 N Lab	北村 由香	「治療に役立つ病理検査」を追求し、社会に貢献します。
株式会社 出島リサーチ&コンサルツ	岡田 裕正	「経済学」が単なる学問ではなく、地域や企業の課題解決に役立つビジネスツールであることを、実践的な活用を通して実証してまいります。
株式会社 PUKPUK	橋爪 海	AI×オフグリッドによる「閉鎖循環式陸上養殖ポッド」の提供
株式会社 フィールドワーカーズ	星 友矩	世界各地の感染症に打ち勝つことを目指し、新たな技術革新を社会実装し、世界に誇れる企業へと成れることを願っています。

2023年3月15日現在

【3】アントレプレナーシップ教育・人材育成プログラム

教育・人材育成プログラムロードマップ&スケジュール(2022年度)

対象	科目	担当教員・講師	日程	開講時期	時間	場所	科目概要
学部生対象	入門プログラム科目 ★アントレプレナーシップ入門	上條由紀子 原口唯 (ゲスト講師招聘)	4/13・4/20・4/27 5/11・5/18・5/25 6/1・6/8 (水)	第1クォーター	水曜5・6時限 (16:10~19:20) ※最終回は5時限のみ (全15コマ)	文教	本授業では、アントレプレナーシップの基礎を学習します。変化が激しく不確実性の高い現代において、解決すべき課題を探索し、自立心・向上心を持って課題解決に取り組み、新しい価値創造にチャレンジできるアントレプレナーが必要とされています。本授業では、自分自身のキャリア構築につなげる視点を持ちながら、アントレプレナーに必要なマインドセット(アントレプレナーシップ)や必要なスキルについて学習します。アントレプレナーシップを発揮するためには、自分自身と対峙し「自分らしさ」を探索し、自己理解を深めた上で自らと社会との関係性に目を向け、社会に対してどのようなアクションができるか、アイデアを創出することが重要となります。本授業ではワークショップ形式で「自分らしさ」の探索とアクションへのつなげ方を学習します。さらに、ベンチャー、大企業、官公庁など実社会の様々な現場において、課題解決に取り組み、新しい価値創造にチャレンジされている実務家や起業家の方々の講演を通じて、実践的な取り組みとアントレプレナーシップの重要性について学習します。
	入門プログラム科目 ★アイデア創出・デザイン思考入門	上條由紀子 原口唯 (ゲスト講師招聘)	6/15・6/22・6/29 7/6・7/13・7/20 7/27・8/3(水)	第2クォーター	水曜5・6時限 (16:10~19:20) ※最終回は5時限のみ (全15コマ)	文教	本授業では、「問いの立て方」、「アイデアを創出する技術(創造技法)」、「ファンクショナル・アプローチ」及び「デザイン思考」を学習します。これらは、多面的な視野・視座・視点を持ちながら問題を発見し、それらを解決するアイデアを考案してイノベーション創出につなげるために必要な入門スキルです。本授業では「問いの立て方」として、いい問いとは何かを考えることを通じて、いい問いの立て方について学びます。そして、「アイデアを創出する技術」として問題発見、アイデア発想、アイデア発展の基礎的手法を学習します。次に、問題解決へ取り組む際、ファンクション(機能・効用・役割・意図・目的・狙い等)に置き換えてから解決する革新的技術である「ファンクショナル・アプローチ」を学びます。最後に、顧客視点・ユーザー視点で対話を重視した問題解決手法である「デザイン思考」の基礎について学習します。なお、本授業では講義と演習(グループワーク)を組み合わせ実施します。
	入門プログラム科目 ★事業創造・スタートアップ入門	原口唯 上條由紀子 (ゲスト講師招聘)	9/28・10/5・10/12 10/19・10/26 11/2・11/9・11/16 (水)	第3クォーター	水曜5・6時限 (16:10~19:20) ※最終回は5時限のみ (全15コマ)	文教	本授業では、イノベーション、即ち、社会に新しい価値を創造する担い手である「スタートアップ」と呼ばれる企業を立ち上げるために必要なスキル、知識、マインドセットについて学習します。具体的には「スタートアップとは何か?」「社会に新しい価値を提供するためのビジネス(事業)とは?」「スタートアップに必要なチームとは?」「ビジネス(事業)に必要な資金をどのように集めるのか?」「ビジネスモデルやビジネスプランとは?」「スタートアップと市場」などのテーマについて学びます。また、新しい事業を創造し、社会価値を生み出すことに挑戦されている起業家や経営者をお招きし、実際のビジネスについてご紹介頂き、スタートアップによるイノベーション創出の意義についてお話をいただきます。
大学院生博士前期課程学生対象 (希望により学部生聴講可能)	基礎プログラム科目 ●アイデア創出・デザイン思考演習	原口唯 上條由紀子 (ゲスト講師招聘)	6/4(土) 6/5(日)	第1クォーター 集中講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文教	本授業では「アイデアを創出する技術」及び「デザイン思考」について演習形式にて学習します。特に、顧客視点・ユーザー視点を軸とした対話を重視する問題解決手法である「デザイン思考」に重点を置き、具体的なテーマを題材としてチームで演習に取り組み、実践的かつ実務で役立つ「デザイン思考」のアプローチやプロセスについて習得します。具体的には、チームにおいて発想したアイデアについて「セールシート」を作成し、策定したアイデアを寸劇(スキット)形式で発表していきます。本授業では、正解がない「前例のない取組み」において、具体的な解決策となるアイデアやコンセプトを、チームで創出可能となる「デザイン思考」のアプローチを実践的に学習するとともに、イノベーション活動の方法論やマインドセットを習得することを目標とします。
		山口泰久	6/15・6/22・6/29 7/6・7/13・7/20 7・27・8/3(水)	第2クォーター	6時限 (17:50~19:20) (全8コマ)	文教	本授業では、起業や新規事業立上げの実践に必要なアントレプレナーシップ(企業家精神)及びビジネスプランの手法を学習します。具体的には、演習(ワークショップ)形式で、顧客課題の設定、課題解決方法を明確化し、特許・技術評価、市場調査などを行い、顧客のニーズに対応した新価値を創造し提供するビジネスプランの作成を学びます。その際、様々な事業化手法やツール(ビジネスモデルキャンパス、デザイン思考等)を学び、それらを実際に使用してチーム形式でビジネスプラン作成演習に取り組みます。
		山下淳司 上條由紀子 (ゲスト講師招聘)	8/6(土) 8/11(木・祝)	夏期集中 講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文教	この授業は、起業や新規事業立上げに取り組む実践人材(アントレプレナー)が知っておくべき、基礎ファイナンス理論およびアントレプレナーにとってのベンチャーの資金繰りや調達方法、企業価値の評価方法について学習するとともに、リスク管理の観点からベンチャーにとって必要な契約・法律の基礎知識、ベンチャーにとって必要な知的財産に関する基礎知識について学習し、企業価値の最大化を実現するための知識と方策について総合的に修得することを目標とします。
		土屋 有	9/24(土) 9/25(日)	夏期集中 講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文教	本授業では、具体的な事例を用いながらアントレプレナーが顧客ニーズに応じた製品・サービスを開発し顧客に価値を提供するために、知っておくべきマーケティングの基礎知識及び手法について学習します。特に、技術のマーケティングについても理解を深めます。また、スタートアップやベンチャーが陥りやすい「顧客が欲しがらない、売れない製品・サービスを市場に出してしまう」失敗を回避するため、研究開発の初期段階から顧客を相手に仮説検証を繰り返し、実現可能なビジネスモデルを探索する「顧客開発モデル」について基礎的な手法を学習します。
	基礎プログラム科目 ●ビジネスプランニング演習	山口泰久	6/15・6/22・6/29 7/6・7/13・7/20 7・27・8/3(水)	第2クォーター	6時限 (17:50~19:20) (全8コマ)	文教	本授業では、起業や新規事業立上げの実践に必要なアントレプレナーシップ(企業家精神)及びビジネスプランの手法を学習します。具体的には、演習(ワークショップ)形式で、顧客課題の設定、課題解決方法を明確化し、特許・技術評価、市場調査などを行い、顧客のニーズに対応した新価値を創造し提供するビジネスプランの作成を学びます。その際、様々な事業化手法やツール(ビジネスモデルキャンパス、デザイン思考等)を学び、それらを実際に使用してチーム形式でビジネスプラン作成演習に取り組みます。
		山下淳司 上條由紀子 (ゲスト講師招聘)	8/6(土) 8/11(木・祝)	夏期集中 講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文教	この授業は、起業や新規事業立上げに取り組む実践人材(アントレプレナー)が知っておくべき、基礎ファイナンス理論およびアントレプレナーにとってのベンチャーの資金繰りや調達方法、企業価値の評価方法について学習するとともに、リスク管理の観点からベンチャーにとって必要な契約・法律の基礎知識、ベンチャーにとって必要な知的財産に関する基礎知識について学習し、企業価値の最大化を実現するための知識と方策について総合的に修得することを目標とします。
		土屋 有	9/24(土) 9/25(日)	夏期集中 講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文教	本授業では、具体的な事例を用いながらアントレプレナーが顧客ニーズに応じた製品・サービスを開発し顧客に価値を提供するために、知っておくべきマーケティングの基礎知識及び手法について学習します。特に、技術のマーケティングについても理解を深めます。また、スタートアップやベンチャーが陥りやすい「顧客が欲しがらない、売れない製品・サービスを市場に出してしまう」失敗を回避するため、研究開発の初期段階から顧客を相手に仮説検証を繰り返し、実現可能なビジネスモデルを探索する「顧客開発モデル」について基礎的な手法を学習します。
	応用プログラム科目 ▲先端技術事業化論1 (AI/IOT/ブロックチェーン)	上條由紀子 原口唯 (ゲスト講師招聘)	7/10(日) 7/23(土)	第2クォーター 集中講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文教	本授業では、人工知能(AI)分野、IoT分野、DX分野、ブロックチェーン分野などの先端技術分野における技術の活用及び社会実装、当該分野において注目されている新規事業について、具体的な事例を通じて最新動向を学習します。具体的には、AI(人工知能)、IoT(Internet Of Things)分野、DX(デジタルトランスフォーメーション)分野、ブロックチェーン分野、メタバース分野など先端技術分野における国内外の事業化事例について、実際に当該分野で起業したり、企業内で新規事業立案に挑戦している起業家・実務家の方、支援者の方によるオムニバス形式の講演を通じて学習を進めます。
		上條由紀子 原口唯 (ゲスト講師招聘)	8/27(土) 8/28(日)	夏期集中 講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文教	変化が激しく不確実性の高い現代において、解決すべき課題を探索し、自立心・向上心を持って課題解決に取り組み、新しい価値創造にチャレンジできるアントレプレナーが必要とされています。本授業では、博士後期課程修了後のキャリア構築につなげる視点を持ちながら、アントレプレナーに必要なマインドセット(アントレプレナーシップ:企業家精神)について学習するとともに、アントレプレナーシップとイノベーションとの関係、起業が社会に与えるインパクト、デザイン思考についても学習します。さらに、研究成果である技術等を活用して、起業により新事業創造を行って社会課題解決や社会価値創出につなげる手法やプロセスを習得します。加えて、アントレプレナーシップ(起業家精神)を持って、地域からグローバルな市場で勝ち抜くビジネスを興し、イノベーションを起こす事例について、実際の起業家の講演を通じて学習します(授業は原則として英語で実施します)。
		松橋俊彦	9/30・10/7・ 10/21・10/28 11/4・11/11・11/18 11/25(金)	第3クォーター	水曜6時限 (17:50~19:20) (全8コマ)	文教	本授業では、起業や新規事業立上げに取り組む実践人材(アントレプレナー)が知っておくべき、イノベーションや技術経営を行うために必要な知識(概念・考え方)を学習します。特に、研究開発の成果である技術シーズに基づいて、企業や新規事業立上げを行うに当たり、必要となるマネジメントの基礎知識(知的財産戦略、技術戦略、出島戦略など)やオープンイノベーション手法の学習に重点を置きます。また、大学の研究開発成果である技術シーズの事業化・商業化可能性について、市場・顧客視点から、具体的な技術シーズに基づき評価を行う「テクノロジーアセスメント」手法について、チーム演習を通じて学習していきます。本授業では、講義と演習(グループワーク)を組み合わせ実施します。
実践プログラム科目 ◆技術マネジメント・組織論	原口唯 上條由紀子 (ゲスト講師招聘)	11/27(日) 12/3(土)	第3クォーター 集中講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文教	本授業では、研究開発成果である技術に基づき製品開発を行い、事業に結びつけて経済的な価値を生み出すため、経営資源である技術を戦略的に活用する、技術マネジメントの手法について学習します。また、研究開発成果である技術を事業化するために大学と産業界とが連携する手法(産学連携)についても学びます。さらに、起業や新規事業立上げにおいて、人材を集めチーム・組織を構築・運営していくことの重要性について学び、そのためのマネジメント手法について学習します。	
	上條由紀子 原口唯 (ゲスト講師招聘)	12/17(土) 12/18(日)	第4クォーター 集中講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	坂本1 (予定)	本授業では、医療分野、ヘルスケア分野などの先端技術とデジタル分野の先端技術との融合及びその活用、社会実装、当該分野において注目されている新規事業について最新動向を学習します。具体的には、これらの先端技術融合分野における国内外の事業化事例について、実際に当該分野で起業したり新規事業立案に挑戦している起業家・実務家の方、支援者の方をお招きし、オムニバス方式のご講演を通じて学習を進めます。	

★学部生対象:学部生は履修登録により単位取得可能
●大学院博士前期課程学生及び社会人対象科目:大学院博士前期課程学生は履修登録により単位取得可能/社会人は履修証明プログラム申込により受講可能/大学院博士後期課程学生および学部生は希望により聴講可能
▲大学院博士後期課程学生及び社会人対象科目:大学院博士後期課程学生は履修登録により単位取得可能/社会人は履修証明プログラム申込により受講可能/大学院博士前期課程学生及び学部生は希望により聴講可能
◆社会人対象科目:社会人は履修証明プログラム申込により受講可能/大学院生・学部生は希望により聴講可能

4 NFECの歩み

【1】ヒストリー

2020

- 2020/4 ● **アントレプレナーシップ教育・人材育成プログラム開講**
- 2020/9 ● **長崎学生ビジネスプランコンテスト2020 開催**(長崎大学からの参加者24名)
長崎大学から参加した学生のうち、8名(グランプリ1名、その他受賞7名)が受賞しました。

- 2020/12 ● **オープンイノベーション拠点「ラウンジNOVE」を学内に開設**
- 2021/3 ● **一周年記念シンポジウム開催**(参加人数78人)
一周年記念シンポジウムでは、河野茂学長、十八親和銀行森拓二郎取締役頭取(当時)、長崎県の平田研副知事の挨拶の後、東京大学大学院工学系研究科教授/産学協創推進本部副本部長であり、日本ベンチャー学会会長の各務茂夫氏による基調講演が行われました。


2021

- 2021/5 ● **JST 社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型(拠点都市環境整備型)に採択**
九州工業大学、長崎大学、北九州市立大学、FFGベンチャービジネスパートナーズの4機関からなる「北九州SDGsイノベーション&アントレプレナーシップ・プラットフォーム(KIEPS)」を構築し、起業活動支援、起業家育成に取り組む指導・支援人材の育成、起業環境の整備及びスタートアップ・エコシステムの形成に取り組みました。

- 2021/7 ● **KIEPSキックオフシンポジウム開催**(学内外から参加者200名以上)

- 2021/11 ● **長崎学生ビジネスプランコンテスト2021 開催**(長崎大学からの参加者18名)
長崎大学から参加した学生のうち、3名(グランプリ1名、その他受賞2名)が受賞しました。

- 2022/3 ● **九州地区Demo DAY:GAPNEXT/KIEPS 合同開催**(学内外から130名以上が参加)

2022

- 2022/5 ● **JST「大学・エコシステム推進型スタートアップエコシステム形成支援」に採択**
国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)による「大学エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」の採択を受け、オール九州・沖縄圏一体でアジアとつながるスタートアップ・エコシステムを創出することを目指し、九州・沖縄の15大学と株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ(FVP)により Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem (PARKS_パークス)を設立しました。2023年度からは3大学を追加し、全19機関で九州・沖縄圏のスタートアップエコシステムを創出していきます。

- 2022/10 ● **長崎学生ビジネスプランコンテスト2022開催**
長崎大学から参加した学生のうち、5名(グランプリ1名、その他受賞4名)が受賞しました。
- 2022/3 ● **PARKS九州地区デモデイ開催**
長崎大学から研究者5名が研究成果を発表しました。


【2】メディア掲載・講演実績

発表日	発表元・発表場所	概要・タイトル
2022 5.25	日本経済新聞	学びの「デジタル証明書」芝浦工大成果明示、留学先にも/長崎大10科目で履修バッジ
2022 8.4	日本経済新聞	上場企業ゼロの長崎県にIPOの芽 地銀など、起業家育成
2022 8.19	大学ジャーナル	九州・沖縄地方の15大学がスタートアップ創出プラットフォーム設立
2022 10.25	長崎新聞	『ガチャばす』でランダム旅行 学生ビジネスプランコン 長崎大グループがグランプリ
2022 10.31	長崎新聞	長崎大生が民放連賞で優秀賞 エフエム長崎「砂漠を泳ぐ野良猫」 若者とカルチャーつなぐ
2022 11.21	日本経済新聞	十八親和銀行と長崎県、起業家を共同支援
2023 1.3	長崎新聞	「スタートアップ」長崎県が後押し 若い発想×新技術 企業や大学も起業家支援
2023 3.8	長崎新聞	魚類養殖飼料に昆虫を 若い起業家と長崎大が共同研究 低コスト、環境負荷低いミルワーム育成



5 NFECメンバー紹介

【1】教職員・アドバイザリーボード

NFEC教職員



センター長・教授・弁理士
上條 由紀子



副センター長
田崎 裕基



准教授
原口 唯

非常勤講師



国立大学法人宮崎大学
地域資源創成学部講師
土屋 有

[担当科目]

技術マーケティング・顧客開発論



国立研究開発法人情報通信研究機構
脳情報通信融合研究センター企画室 マネージャー
松橋 俊彦

[担当科目]

イノベーション論(イノベーション・
技術戦略・知財戦略・出島戦略)



株式会社FFGベンチャー
ビジネスパートナーズ 副社長
山口 泰久

[担当科目]

アントレプレナーシップ応用
(ビジネスプランニング演習)



株式会社十八親和銀行 主任調査役
センター長・教授(2019.10-2021.5)
山下 淳司

[担当科目]

アントレプレナー・ファイナンス論

アドバイザリーボード



東京大学 大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻 教授
産学協創推進本部 副本部長
一般社団法人日本ベンチャー学会 会長
各務 茂夫氏



一般社団法人/
株式会社Eirene University 代表
アイリーニ・マネジメント・スクール 学長
柏野 尊徳氏



e.lab (Entrepreneurship Laboratory) 代表
鹿児島大学 客員教授
元九州大学 産学連携センター教授/
ロバート・ファン・アントレプレナーシップ・センター 創設者・初代センター長
谷川 徹氏



協和機電工業株式会社
代表取締役会長
坂井 秀之氏



株式会社十八親和銀行
取締役会長
森 拓二郎氏

【2】ゲスト講師(2022年度実績・五十音順)



国連開発計画(UNDP)駐日代表事務所
ユース担当コンサルタント
天野 裕美氏

担当科目/事業創造・スタートアップ入門



アイデアプラント
代表
石井 力重氏

担当科目/アイデア創出・デザイン思考入門



株式会社メトセラ
代表取締役
岩宮 貴紘氏

担当科目/先端技術事業化論2



株式会社FUNDINNO
マネージャー/ベンチャーサポート
太田 傑氏

担当科目/アントレプレナーシップ入門・ファイナンス論



筑波大学国際産学連携本部
准教授
尾崎 典明氏

担当科目/イノベーション論
技術マネジメント・組織論



たべものCo./いきものCo.
代表
菊池 紳氏

担当科目/アントレプレナーシップ入門



Beatrust株式会社
共同創業者
久米 雅人氏

担当科目/先端技術事業化論1



Stanford University
Program Director(U.S.) Japan Biodesign,
池野 文昭氏

担当科目/先端技術事業化論2



Fukuoka D.C. Associate
九州大学大学院人間環境学府博士後期課程
Freelance Urban Designer"
岩淵 丈和氏

担当科目/事業創造・スタートアップ入門



株式会社Smolt
代表取締役CEO
上野 賢氏

担当科目/アントレプレナーシップ入門



Blue Empathy
代表プランナー
大塚 智子氏

担当科目/アイデア創出・デザイン思考



株式会社リーブラジャパン
経営企画/社長秘書
鎌田 勇利氏

担当科目/アントレプレナーシップ入門



株式会社プロフィナンス
代表取締役CEO
木村 義弘氏

担当科目/先端技術事業化論1



株式会社iNTO
代表取締役
小松崎 友子氏

担当科目/アントレプレナーシップ入門

【2】 ゲスト講師(2022年度実績・五十音順)



ドコモ・ヘルスケア株式会社
代表取締役
竹林 一氏

担当科目/事業創造・スタートアップ入門
先端技術事業化論2



弁理士法人瑛彩知の財産事務所
所長弁理士・米国NY州弁護士
竹本 如洋氏

担当科目/アントレプレナーシップ入門・ファイナンス論



NTTアドバンステクノロジー
マーケティング部門部門長
三宅 泰世氏

担当科目/アイデア創出・デザイン思考



株式会社ほんね
代表取締役社長
森 朝香氏

担当科目/アントレプレナーシップ入門



株式会社パルクオム
取締役CFO
谷口 尚人氏

担当科目/アントレプレナーシップ入門・ファイナンス論



国立大学法人 広島大学大学院医系科学研究科
細胞分子生物学研究室
副学長(産学連携担当)・PSI GMP教育研究センター長
田原 栄俊氏

担当科目/先端技術事業化論2



株式会社シリコンバレーベンチャーズ
代表取締役社長兼CEO
森若 幸次郎氏

担当科目/グローバルアントレプレナーシップ論



株式会社54
代表取締役
山口 豪志氏

担当科目/アントレプレナーシップ入門



株式会社よびもり
CEO
千葉 佳祐氏

担当科目/事業創造・スタートアップ入門



株式会社Medii
執行役員 COO
筒井 亮介氏

担当科目/先端技術事業化論2



株式会社アドミン
代表取締役
山口 知宏氏

担当科目/先端技術事業化論1



Medii株式会社 代表取締役
医師/CEO
山田 裕揮氏

担当科目/先端技術事業化論2



サグリ株式会社
代表取締役
坪井 俊輔氏

担当科目/先端技術事業化論1



デジタルホールディングス・アステリア株式会社
社外取締役
時岡 真理子氏

担当科目/グローバルアントレプレナーシップ論



ビジネスモデルイノベーション協会
代表理事
山本 伸氏

担当科目/グローバルアントレプレナーシップ論



中村合同特許法律事務所ストックマーク株式会社
株式会社オンリーストーリー
弁護士・弁理士・社外監査役
山本 飛翔氏

担当科目/技術マネジメント・組織論



株式会社Ringfish
代表取締役
中澤 雄一郎氏

担当科目/アイデア創出・デザイン思考演習
事業創造・スタートアップ入門



株式会社Laplust
取締役COO
原崎 芳加氏

担当科目/先端技術事業化論1



ファンクショナルアプローチ研究所
代表取締役
横田 尚哉氏

担当科目/アイデア創出・デザイン思考



国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
総務部長
吉武 徹氏

担当科目/技術マネジメント・組織論



株式会社ジコウ
代表取締役
平田 一茂氏

担当科目/アントレプレナーシップ入門



合同会社SARR
代表執行社員/医学博士
松田 一敬氏

担当科目/先端技術事業化論1
先端技術事業化論2



株式会社REPUBLI9
代表取締役社長
吉川 欣也氏

担当科目/グローバルアントレプレナーシップ論



神戸大学大学院経営学研究科
准教授
吉田 満梨氏

担当科目/事業創造・スタートアップ入門
技術マネジメント・組織論



株式会社dandan
代表取締役
三浦 豪氏

担当科目/アントレプレナーシップ入門



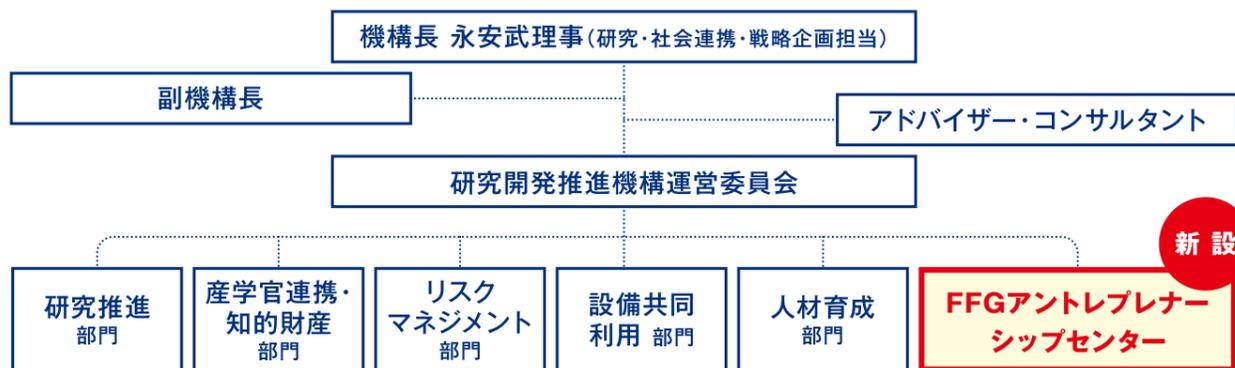
長崎県 企画部
政策監
三上 建治氏

担当科目/技術マネジメント・組織論

6 NFECの概要

概要

- **名称**
国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構
FFGアントレプレナーシップセンター
- **開設時期**
2019年10月(2020年4月から教育プログラム開講)
- **講座形式**
株式会社ふくおかフィナンシャルグループ寄附講座
- **組織図**
FFGアントレプレナーシップセンターは長崎大学研究開発推進機構の一部門として新設されました。
- **履修対象者**
長崎大学全学部の学部生・全学科の大学院生
社会人履修生(履修証明プログラム)
他大学学部生(NICEキャンパス長崎単位互換制度)



新設

ラウンジNOVE

◆ラウンジNOVEとは

ラウンジNOVEは、長崎オープンイノベーション拠点の一部として長崎大学内に開設されたスペースです。NOVEとは「Nagasaki Open Innovation & Venture Empowerment」の略称であるとともに、ラテン語で「新たに」という意味を持ちます。

◆長崎オープンイノベーション拠点とは

長崎オープンイノベーション拠点は、2020年7月、長崎大学、長崎県産業労働部及び公益社団法人長崎県産業振興財団により、長崎県の産業振興及び地域課題の解決を図ることを目的として締結された産学官連携に関する協定に基づいて設置された拠点です。長崎オープンイノベーション拠点を核として、長崎県の地方創生の実現と将来にわたる長崎県の持続的な発展を目指した活動が行われます。

◆ラウンジNOVEのビジョン

- ①ラウンジNOVEは、長崎大学の学生が自分自身の課題意識に基づいて問いを見出し、その問いの解決に向けて自発的に企画・発案したプロジェクト(学生プロジェクト)に取り組むことによって、多様な価値観を共有できる仲間と出会い、創造性を発揮して社会に新しい価値を生み出す実践の場を目指します。
- ②ラウンジNOVEは、学生同士のみならず、社会人(NOVEに訪問登録をした卒業生、教職員、行政、企業に属する社会人等)との交流を積極的に行うことにより、長崎におけるオープンイノベーションの発信地を目指します。

◆ラウンジNOVEの利用方法

学生プロジェクトに取り組む学生は、利用登録をすることにより、会議、セミナー、学生同士の交流・議論の場、学生プロジェクトに関わる社会人や教職員との交流・議論の場として、ラウンジNOVEを利用できます。



NFEC及びラウンジNOVEへのアクセス

文教キャンパス Map



NFECへのお問合せ・ご質問のある方は、下記のWEBサイトまたはメールアドレスに御連絡をくださいますようお願いいたします。

また、NFECへのご訪問を希望される方は、あらかじめ下記WEBサイトまたはメールアドレスにご連絡をいただき、アポイントをお取りいただきたく、お願いいたします。

**FFG
アントレプレナーシップセンター**
工学部2号館2F オープンラボ3(研究室)・1F オープンラボ1(ラウンジNOVE)

◆NFECのWEBサイト

<http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp>

◆NFECのメールアドレス

ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp

[WEBサイト]



[メールアドレス]



●JRをご利用の場合

JR長崎本線「浦上駅」下車、その後、以下の路面電車もしくはバス利用

●浦上駅から路面電車をご利用の場合

- 「浦上駅前」から「赤迫(あかさこ)」行き乗車
- 「長崎大学」下車(所要時間/約10分)

●浦上駅からバスをご利用の場合

- 「浦上駅前」から「滑石(なめし)・時津(とぎつ)」等方面行き乗車、「長崎大学」下車(所要時間/約10分)

●高速バスをご利用の場合

浦上経由長崎方面行きバス「昭和町(しょうわまち)」で下車し、徒歩で長崎大学東門まで約15分あるいは長崎大学正門まで約20分

●航空機をご利用の場合

長崎空港(大村市)から浦上経由長崎方面行き長崎県バス「長崎空港リムジン」で「長大東門前(ちょうだいいひがしもんまえ)」で下車(所要時間/約50分)し、徒歩で約3分

